

# 編 集 後 記

今月の特集はへとまる・とどまるです。四人の方に関心をお持ちの視点から書いていただきました。

\*

ちようど、とどまるについて考えていたころ、若い人たちと読んでいた本の中で、歩きまわる子ども“の話しに出会いました(津守真著『子どもの世界をどうみるか』NHKブックス)。

S子は、砂場にいる子、水で遊んでいる子などのところに立ち寄っては、じきに立ち去ってしまいます。その様子に「この子は、いつも落ち着きがないんです」と母親。しかし津守氏は、S子をよく見ていると

そこにいる人に視線を少しとどめてから次に移っていることに気づき、氏自身の体験に想像を巡らせます。

パーティーのとき人々の間をうろうろと歩きまわる。だれかと話さぬれば、それで歩きまわる行動は終わる。だれかと関心をわかち合い、存在感をともにすれば、そこに「とどまる」と。

そして、S子に「落ち着きがない」のではなく、だれもがこの日のS子と親密な関係に入っていない。自分も含めて、と気づきます。

これを読んで、この言葉の肯定的な面―だれかと親密な関係に入ることでその場に「とどまる」ことができる―に気づきました。「とどまる」という言葉は、先に進まない、という否定的な意味ばかりとは限らないようです。

(A)

## 幼 児 の 教 育

第一〇一卷 第十一号

(二〇〇二年十一月号)

定価五五〇円(本体五二四円)

発行 平成十四年十一月一日

編集兼発行人 田代和美

発行所 日本幼稚園協会

〒112-8610 東京都文京区大塚二丁目一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒108-8620 東京都港区三田五丁目二丁目一

発売所 株式会社 フレーベル館

〒113-8611 東京都文京区本駒込 六一―四一九

六―一四一九

〒〇三―五三九五―一六六―一三(営業)

〒〇三―五三九五―一六六―〇四(編集)

振替 〇〇一九〇―二―一九六四〇

☆ 本誌ご購入のご注文は発売所フレーベル館にお願いいたします。

☆ 万一、乱丁・落丁などがございましたら、おとりかえいたします。